



# DELTA CUP 2025

Narita  
Motorland



神奈川 池田 史 (カルロ・コルマルーニ池田)



平沼家親子姉妹で事務局スタッフとして協力

2025年10月12日、曇り空の中、今年で27回目(DC31周年)となるデルタカップ2025を成田モーターランドにてLCJ主催により開催しました。去年から人に優しい秋、10月のイベント開催となり、参加台数についても、賞典はデルタ、ランチア車、イタ車に限定している中、38台のエントラントを迎えることとなりました。これも皆様の長年のご協力の賜物であり、事務局として嬉しい限りです。

昨年に引き続き、事務局スタッフも平沼家親子二代で協力。今年は姉妹で受付サービスして頂きました。

主催のDC代表の森山理事も大変疲れました。昨年秋に大怪我をして、半年以上治療、リハビリの中、DCにはクラッチ踏んで参

加できるまで復活できて本当に良かったです。そんな中、私も事務局かつエントラントとして参戦です。この象くんと31年目のDC。お前はホント、老けないよな。

今年のDCオリジナルTシャツは、ビアジオアンが復活させたイプシロンHFをオマージュしてのHFデザイン。High Fidelity(ハイファイディティ)は高性能なLANCIA車の称号、スカイラインで言う、GT-RのRみたいなものでしょうか。像使いに取って、HFは葵の紋章みたいなのですね。

今年のレギュレーションも昨年同様でした。コース設定は事前に公開するSS1を2本走りそのベストと当日発表するSS2の1本の合計タイムで競います。昨年、ミスコースをした私をはじめ、そんな人にも優しいレギュレー



優勝マサトさんABARTH124



Delta cup 2025 公式リザルト

順位	NO	ゼッケン Wエンブリ	氏名	ドライバー名	車両名
1	17	6	畠野 まさと	まさと	Abarth 124 Spider
2	27	72	伊藤 恵志	伊藤 恵志	Abaromeo 4c
-	36	99	米林 康晃	康晃	アバルト124スピーダー
3	20	77	生天目 綾平	綾平	HONDA S2000
-	29	73	加藤 政幸	政幸	Lancia Delta EVOII
4	1	1	池田 実	実	カルロ・コルマルーニ池田
5	15	5	中野 雄樹	雄樹	LANCIA DELTA 16V
6	5	3	森山 元一郎	トヨタ	Delta EVOI
7	35	98	猪股 義嗣	義嗣	Abaromeo156GTA
8	16	75	角田俊子	角田俊子	アバルト124スピーダー
9	8	4	宮本 英輔	英輔	LANCIA DELTA EVO II
10	10	94	米倉 恵一	ヨネクラ	LANCIA Delta Evo2



香港からMattさん、右ハンドルの16V



Getした景品

ションでした。パイロンタッチは+3秒、安全装備を推奨するため、FIA公認スースで-1秒、非公認で-0.5秒。あと抽選でプレミアム減算タイムがありました。優勝のマサトさんは、このプレミアムタイムもGetするという、もつている人の一人でした。その余裕の効果が絶大だったのか、リザルトとしては、毎年、Pタッチで海の藻屑となっていたマサトさん(AB124)が2位に8秒近くリードするぶっちぎりの優勝。2位は伊藤さん(AR4C)、3位も生天目さん(AB124)と、表彰台に象使いは一人も上がりえないDCでした。(涙

昨年ABARTH124で優勝の森さんは、森山さんのダークカード1号(デルタ)で今年はダブエン。流石に124とデルタのドライビングの違いにより15位と今一つでした。当の私としては、去年はSS1、2共にミスコースでノータイム、リザルト無しの散々でしたが、今回は何とか全集中、4位入賞が精一杯。でもデルタ最速Getでした! (自画自賛) 来年は足回り、タイヤ等も新調して124対策をしないとまずいですね。DCの歴史の中で、2年連続124にデルタ杯を持ってかれました。象使いの皆さん!杯を奪取できるように頑張りましょう!

来年は4WDに有利な様なスキッドパッド化して水撒くかな。

今年のチャンピオンと3位の両名は成田から鈴鹿へ遠征で表彰式は不在。2位の4C伊藤さんしかいない、なんとも寂しい表彰台でした。今回は香港からMattさんがなんと右ハンドルの16Vを日本に持ってきて参戦! DCもグローバルイベントになりました。Mattさんはじょんけん強くて良い物をGetしていました。また来年是非来てくださいませ。

DC開催前の週のトリコローレ富士でデルタ

3のMOMO限定車の方にお声掛けし、DCに参戦してもらいました。感想を聞くと、あまりデルタをこういうところで走らせたことがなかったのでとても楽しかったです、来年はスポーツタイヤ履いてまた参戦します! とおっしゃっていました。

LCJの皆さん、デルタ乗りの皆さん、特にデルタ2、デルタ3の皆さん、来年是非参加してみてくださいませ。自分の知らないデルタを再認識できると思います。よろしくお願い致します。

最後に、今年の10月2日にクラウディオ・ロンバルディさんが亡くなりました。1970年代後半から1980年代にかけて、ランチアのラリー部門「スクアドラ・コルセHF」でテクニカルディレクターを務めた方で、代表的な開発車両として、ランチア037ラリー(グループB)、ランチア・デルタS4(グループB)、ランチア・デルタHFインテグラーレ(グループA)があります。スクアドラ・コルセの後、1989年から



デルタカップの模様は、FacebookのDeltaCupAssociationでもご覧になれます。